

漁場間移植によるアサリの有効利用

福島県水産試験場 相馬支場
平成19年度福島県水産試験場事業概要
報告書

1 部門名

水産業－その他－アサリ
分類コード 19-99-54000000

2 担当者

佐藤利幸

3 要旨

松川浦のアサリは、漁場によって肥満度や大きさが異なり価格差が生じている。肥満度の高い大型のアサリを採取するために漁業者が利用する操業海域(利用漁場)は限定され、利用されない漁場がある。この未利用漁場に生息する肥満度の低い小型のアサリを利用漁場に移植して肥満度、成長等の向上を図り、有効利用を検討した。

- (1) 利用漁場に移植したアサリ群の肥満度は、1ヵ月で平均14.7、2ヵ月で平均18.2であり、未利用漁場に残したアサリ群(1ヵ月平均12.9、2ヵ月平均16.3)に比べ値が高く、身入りの向上がみられた。
- (2) 移植アサリ群の成長は、1ヵ月平均0.9mm、2ヵ月平均1.9mmで、残したアサリ群(1ヵ月0.3mm、2ヵ月0.9mm)に比べ良い成長がみられた。
- (3) 成長は、移植アサリ群、残したアサリ群とも個体差はあるが、2ヵ月間で2mm以上成長した個体の割合は、移植アサリ群が約43%で、残したアサリ群(約13%)に比べ高い結果が得られた。
- (4) 移植後の増重量比は、移植アサリ群が1ヵ月8.5%、2ヵ月18.0%であり、残したアサリ群(1ヵ月5.3%、2ヵ月14.1%)に比べ若干高い値が得られた。
- (5) このように利用漁場への移植によってアサリの肥満度、成長の向上及び増重が認められたことから、未利用漁場資源の移植による有効活用で生産量及び金額の増加が期待できると考えられる。

4 その他の資料等

なし